

平成18年度宝くじ助成事業成果概要

企画部

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、河川空間の種々の機能に対する期待と要請が一層増大している。

そのため、これらの機能を充実させ、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、当センターでは、(財)日本宝くじ協会の支援を受け「水辺空間整備に関する広報活動事業」を昭和62年度より実施している。平成18年度は52,000千円(税抜き)の助成を受け、全国の市町村を対象にした水辺施設の設置及び水辺空間整備に係わる調査研究成果に関する出版物の作成を行った。

1. 水辺施設の設置

水辺施設は、水辺空間の快適性や豊かな自然環境を向上させることを目的に、市町村を対象に公募し、水辺施設選定委員会に諮り選定された7ヶ所に設置した。その内訳は、「アメニティ」の向上に寄与する施設7ヶ所であり、内容は以下に示すとおりである。

- ・最上川水系最上川(山形県酒田市)：水辺観察施設
- ・那珂川水系余笹川(栃木県那須塩原市)：あずまや
- ・早瀬川水系三方湖(福井県若狭町)：あずまや
- ・佐久間川水系大崩川佐久間ダム(千葉県鋸南町)：あずまや
- ・庄内川水系新川(愛知県清須市)：あずまや等
- ・市川水系市川(兵庫県朝来市)：水辺観察施設
- ・和田川水系和田川(鹿児島県鹿児島市)：あずまや

2. 出版物の作成

出版物は、以下の7冊を作成し、国、地方自治体、民間団体等に配布した。

- ①「水辺のこゝろ 平成17年度「川に学ぶ」活動事例集」
- ②「『川の自然を見つめてみよう②』—河川の外来種図鑑—【改訂版】」
- ③「水辺ではじめてみたら 川づくり・地域づくりの現場報告」
- ④「きれいな海辺を取り戻すために ～海洋ごみ問題への取組み～」
- ⑤「河川環境資料の活用の手引き ～河川環境情報図等の有効な活用手法～」
- ⑥「河川景観の形成と保全の考え方」
- ⑦「ブラックバスを科学する 駆除のための基礎資料」

平成18年度も引き続き宝くじ協会の支援を受け、本事業を実施する予定である。水辺施設は、昨年の12月から1月にかけて募集し、2月に選定委員会に諮り、その結果、秋田県仙北市、栃木県さくら市、大阪府池田市、兵庫県豊岡市、兵庫県養父市、愛媛県大洲市の計6箇所が選定された。応募にご協力いただいた市町村に対し、感謝申し上げます。



最上川水系最上川
(山形県酒田市)



那珂川水系余笹川
(栃木県那須塩原市)



早瀬川水系三方湖
(福井県若狭町)



佐久間川水系佐久間ダム
(千葉県鋸南町)



庄内川水系新川
(愛知県清須市)



市川水系市川
(兵庫県朝来市)



和田川水系和田川
(鹿児島県鹿児島市)